

【ご利用に当たって】

このファイルはどなたでも自由に利用することができます。サイトやブログへの転載や配布は可能ですが、内容の改変、転売、商用での利用はご遠慮ください。また、このファイルは印刷してご利用ください。印刷物に関しては断り無く、コピー、配布していただいて結構です。学術機関等で利用していただいても結構ですが、その場合は、info@kankako.com までご連絡をお願いします。

また、ファイルによっては印刷枚数が数十枚に上ることがあります。確認の上、印刷を行ってください。

このファイルを利用したことによる一切の損害は、当サイトでは負いかねますので予めご了承ください。

【ご意見・ご要望】

当サイトでは、ニーズに合わせた問題ファイルをお作りします。すべてのご意見・ご要望にお答えすることはできませんが、可能な限り対応させていただきます。about@kankako.com までご連絡ください。直接 PDF ファイルを添付して返信するか、ホームページで公開させていただきます。ニーズに合わせた問題ファイルは以下の例を参考にしてください。

例)

- ・ 第 20～24 回国家試験の社会・環境と健康の分野 100 問
- ・ 第 20 回国家試験からランダムで 20 問
- ・ 基礎栄養学と応用栄養学からランダムで 20 問
- ・ 難易度が低い問題のみ
- ・ 図表問題のみ etc…

また、当サイトでも順次ファイルを作成し、公開していきます。今後もカンカコドットコムをよろしくをお願いします。



<http://kankako.com>

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

24-1 公衆衛生の歴史に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 高木兼寛は、我が国で初めて大規模な食事介入研究を実施した。
 - b) ジョン・スノウは、結核菌発見前に結核予防対策を実施した。
 - c) 厚生省(現厚生労働省)は、第二次世界大戦後に発足した。
 - d) 検疫は、中世ヨーロッパのペスト流行がきっかけで実施されるようになった。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

24-2 食品安全委員会に関する記述である。間違ってるものを選べ。

- (1) 内閣府に設置されている。
- (2) 食品安全基本法により設置された。
- (3) 食品に含まれる有害物質等の規制を行う。
- (4) 食品に含まれる有害物質等のリスク評価を行う。
- (5) 食品安全に関するリスクコミュニケーションを行う。

24-3 環境保全に関する条約等と内容に関する組合せである。正しいものを選べ。

- (1) 京都議定書—オゾン層破壊防止
- (2) バゼル集約—有害廃棄物の越境移動と処分
- (3) ワシントン条約—湿原等の保全
- (4) ラムサール条約—種の保存
- (5) モントリオール議定書—地球温暖化防止

24-4 温熱環境の指標である湿球黒球温度(WBGT)指数についての記述である。[]に入る正しいものの組合せはどれか。ただしaとbは順不同である。室内または日光照射のない室外では、[a]と[b]を測定して計算され、日光照射のある室外では、[a]と[b]と[c]を測定して計算される。

正しいものを選べ。"

- (1) 【a】 湿球温 — 【b】 乾球温 — 【c】 黒球温
- (2) 【a】 黒球温 — 【b】 乾球温 — 【c】 湿球温
- (3) 【a】 湿球温 — 【b】 気流速度 — 【c】 乾球温
- (4) 【a】 湿球温 — 【b】 黒球温 — 【c】 気流速度
- (5) 【a】 湿球温 — 【b】 黒球温 — 【c】 乾球温

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

24-5 環境統計に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 老年化指教は、総人口に占める老年人口の割合である。
- (2) 合計特殊出生率は、1人の女性が生涯に産む女兒の人数を意味する。
- (3) 新生児死亡は、生後4週未満の死亡である。
- (4) 標準化死亡比の計算には、昭和55年モデル人口を用いる。
- (5) 平均寿命は、その年次に死亡した人の平均年齢である。

24-6 人口動態統計に含まれる事象である。間違ってるものを選べ。

- (1) 出生
- (2) 死亡
- (3) 死産
- (4) 離婚
- (5) 転出入

24-7 症例対照研究に比べて、コホート研究が優れている点である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 要因曝露情報に、偏り(バイアス)が生じにくい。
 - b) 稀な疾病を研究しやすい。
 - c) 費用・労力が少ない。
 - d) 罹患率を計算することができる。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

24-8 疾病Aのスクリーニング検査に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 特異度は、真に疾病Aを有する人のうち、検査陽性になる人の割合である。
 - b) 敏感度は、検査陽性になった人のうち、真に疾病Aを有する人の割合である。
 - c) ROC曲線は、縦軸を敏感度、横軸を偽陽性率として描く。
 - d) 陽性反応的中度は、対象集団における疾病Aの有病率によって変わる。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-9 疫学指標に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 期間有病率は、一定期間中に新たに疾病を発症した人数を、危険曝露人口で割ったものである。
- (2) 時点有病率は、ある一時点において疾病を有する人数を、危険曝露人口で割ったものである。
- (3) 罹患率は、一定期間中のいずれかの時点で疾病を有していた人数を、危険曝露人口で割ったものである。
- (4) 死亡率は、ある疾病に罹患した者のうち、その疾病が原因で死亡した者の割合である。
- (5) 致命率は、一定期間中にある疾病で死亡した人数を、総人口で割ったものである。

24-11 たばこ対策のポピュレーション戦略である。正しいものの組合せを選び。

- a) たばこの広告の制限
 - b) ニコチンパッチ
 - c) 個別禁煙指導
 - d) 公共の場所の分煙
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-12 2004 年以降の我が国の喫煙の状況についての記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 30 歳代男性と比較して、60 歳代男性の喫煙率は高い。
 - b) 20 年前と比較して、女性の喫煙率は減少している。
 - c) 20 年前と比較して、男性の喫煙率は減少している。
 - d) 欧米先進国と比較して、我が国の男性の喫煙率は高い。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-13 各年代とその年代で重視される歯科保健対策の組合せである。間違ってるものを選び。

- (1) 幼児 — 歯口清掃の指導
- (2) 学童 — 永久歯う歯の予防
- (3) 中・高校生 — う歯の早期治療
- (4) 成人 — 歯周疾患の早期治療
- (5) 高齢者 — 「8010 運動」の推進

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-14 感染症と感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）上の分類の組合せである。
正しいものの組合せを選べ。

- a) 鳥インフルエンザ(H5N1) — 1 類感染症
 - b) インフルエンザ(鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症を除く) — 5 類感染症
 - c) 結核 — 2 類感染症
 - d) 腸管出血性大腸菌感染症 — 4 類感染症
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-15 生活保護費に関する社会保障制度である。正しいものを選べ。

- (1) 社会保険
- (2) 公的扶助
- (3) 公衆衛生
- (4) 恩給
- (5) 社会福祉

24-16 我が国の医療についての記述である。正しいものを選べ。

- (1) 平成 18 年の国民医療費は、50 兆円を超えている。
- (2) 医療計画の策定は、国によって行われる。
- (3) 国民健康保険は、被用者保険である。
- (4) 医薬分業のメリットとして、薬剤の重複投与の防止がある。
- (5) 一般病床には、長期にわたり療養が必要な患者を入院させる。

24-17 市町村保健センターについての記述である。正しいものを選べ。

- (1) 老人保健法に基づいて設置されている。
- (2) 二次医療圏ごとに設置されている。
- (3) 地域保健の広域的、専門的かつ技術的拠点である。
- (4) 住宅環境に関する事項を所管している。
- (5) 住民に対し、健康相談、保健指導及び健康診査を行う施設である。

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-18 母子保健についての記述である。正しいものを選び。

- (1) 学童期の健康管理は、母子保健法に基づいて行われる。
- (2) 母子健康手帳は、都道府県知事より交付される。
- (3) 1 歳 6 か月児健康診査の項目に、精神発達の状況は含まれない。
- (4) 「健やか親子 21」には、思春期の保健対策が含まれている。
- (5) 未熟児養育医療は、小児慢性特定疾患治療研究事業の一環として行われる。

24-19 2007 年以降の我が国の産業保健についての記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 業務上疾病で最も発生数が多いのは、災害性腰痛である。
 - b) 労働災害による年間死亡者数は、1,000 人未満である。
 - c) 定期健康診断で有所見率が最も高いのは、血圧である。
 - d) 常時 50 人以上の労働者を使用する事業場では、産業医選任の義務がある。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-20 学校保健に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 養護教諭には、看護師の資格がなければならない。
- (2) 栄養教諭には、管理栄養士の資格がなければならない。
- (3) 就学時健康診断は、入学後 1 か月以内に行われる。
- (4) 感染症による出席停止は、学校医によって行われる。
- (5) 感染症対策のための臨時休業は、学校の設置者によって行われる。

24-21 ミトコンドリアに関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 自己複製することができる。
 - b) 成熟赤血球は、ミトコンドリアをもつ。
 - c) 外膜は、クリステを形成している。
 - d) ミトコンドリア DNA は、母親由来である。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-22 たんぱく質の構造と機能に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) たんぱく質の変性とは、一次構造が破壊されることである。
- (2) 補体は、補酵素として機能する。
- (3) 受容体は、情報伝達物質の標的細胞に存在する。
- (4) 酵素は、触媒する反応に必要なエネルギーを増大させる。
- (5) 収縮たんぱく質は、それ自体の長さを短縮することで筋収縮を引き起こす。

24-23 たんぱく質の構造に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) インスリンは、A鎖とB鎖の2本のペプチド鎖からなる。
- (2) コラーゲンは、二重らせん構造をもつ。
- (3) インスリン受容体は、7つの膜貫通領域をもつ。
- (4) ヘモグロビンは、 α 鎖と β 鎖からなる2量体である。
- (5) IgGは、各4本のL鎖とH鎖をもつ。

24-24 脂質に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) オレイン酸は、n-6系の一価不飽和脂肪酸である。
- (2) エイコサペンタエン酸は、炭素数20の飽和脂肪酸である。
- (3) アラキドン酸は、プロスタグランジンの前駆体となる。
- (4) ホスファチジルコリンは、セリンをもつ。
- (5) ビタミンAは、ステロイド骨格をもつ。

24-25 脂質に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 脂肪酸の β 酸化は、細胞質ゾルで行われる。
- (2) ドコサヘキサエン酸は、エイコサノイドである。
- (3) 血中のケトン体が増加すると、血液pHは上昇する。
- (4) メバロン酸は、コレステロール合成の中間体である。
- (5) スフィンゴミエリンは、単純脂質である。

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-26 エネルギーとその変換に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) グルコースの好氣的代謝によって生じる ATP は、嫌氣的代謝よりも多い。
 - b) 37.0℃の水 50kg が、2,000kcal の熱量を吸収すると、水温は 37.4℃になる。
 - c) ヒトが生存・活動するためのエネルギーとして利用しているのは、熱エネルギーである。
 - d) 呼気中の二酸化炭素分子には、摂取した水分子に由来する酸素原子が含まれる。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-27 代謝とその調節に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) アロステリック効果は、基質結合部位へのリガンドの結合によって生じる。
- (2) HMG-CoA 還元酵素は、アセチル CoA によるフィードバック制御をうける。
- (3) アインザイムは、同一反応を触媒するが構造の異なる酵素である。
- (4) リポたんぱく質リパーゼは、インスリンによって抑制される。
- (5) グリコーゲン合成酵素は、アドレナリンによって活性化される。

24-28 代謝とその調節に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) アクアポリン(水チャンネル)は、ATP を加水分解する酵素である。
- (2) クエン酸回路には、基質と酵素分子との反応過程がある。
- (3) アンギオテンシン変換酵素は、アンギオテンシン I をアンギオテンシノーゲンに変換する。
- (4) 脱共役たんぱく質(UCP)は、電子伝達と ATP 合成を脱共役させる。
- (5) ホスホジエステラーゼは、ATP を基質として cAMP(環状 AMP)を合成する。

24-29 糖質の代謝に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) インスリンは、骨格筋でグルコース輸送体(GLUT4)に作用する。
- (2) 骨格筋では、グリコーゲンがグルコースに変換される。
- (3) アセチル CoA は、リンゴ酸と反応してクエン酸回路に入る。
- (4) ペントースリン酸回路は、ミトコンドリアに存在する。
- (5) アセチル CoA は、糖新生の基質となる。

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-30 生理活性物質とその前駆体のアミノ酸に関する組合せである。正しいものを選び。

- (1) 一酸化窒素(NO) — メチオニン
- (2) γ -アミノ酪酸(GABA) — グルタミン酸
- (3) セロトニン — チロシン
- (4) ヒスタミン — ロイシン
- (5) アドレナリン — トリプトファン

24-31 核酸・遺伝子に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 成熟 mRNA(伝令 RNA)で遺伝情報を含む部分は、イントロンである。
- (2) ヌクレオシド(nucleoside)は、リン酸をもつ。
- (3) DNA から mRNA(伝令 RNA)への伝写は、DNA ポリメラーゼによる。
- (4) 活性型ビタミン D は、遺伝子発現を調節する。
- (5) DNA 分子中のチミンに対応する相補的塩基は、アラニンである。

24-32 炎症についての記述である。正しいものを選び。

- (1) 慢性炎症の浸潤細胞は、主に好中球である。
- (2) 急性炎症では、血管透過性が低下する。
- (3) 炎症性サイトカインは、赤血球に由来する。
- (4) 急性炎症では、乾酪壊死がみられる。
- (5) 炎症では、血中に C 反応性たんぱく質(CRP)が増加する。

24-33 疾患に関連する病態・症候・検査についての記述である。正しいものを選び。

- (1) 頻脈は、甲状腺機能低下症でみられる。
- (2) 下血は、過敏性腸症候群でみられる。
- (3) クスマウル大呼吸は、胆石発作でみられる。
- (4) 黄疸は、溶血性貧血でみられる。
- (5) 1 秒率の増加は、慢性閉塞性肺疾患でみられる。

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-34 終末期医療と死に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) ホスピスでは、終末期医療を専門的に行っている。
 - b) 緩和ケアは、精神面のケアを含まない。
 - c) 尊厳死の選択は、本人の自発的意志によるものである。
 - d) 安楽死は、わが国では尊厳死法に定められている。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-35 糖質の代謝に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 乳酸は、好氣的条件下でピルビン酸から生成される。
- (2) 乳酸脱水素酵素は、解糖系の律速酵素である。
- (3) アラニンは、肝での糖新生に利用される。
- (4) ペントースリン酸回路は、クエン酸回路の側路である。
- (5) グルカゴンは、グリコーゲン分解を抑制する。

24-36 一次救命処置に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 口対口人工呼吸法(mouth-to-mouth 法)
 - b) 心電図のモニタリング
 - c) 頭部後屈による気道確保
 - d) アドレナリンの静脈内注射
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-37 糖尿病の合併症である。間違ってるものを選べ。

- (1) 高浸透圧昏睡
- (2) 代謝性アルカローシス
- (3) 失明
- (4) ネフローゼ症候群
- (5) 起立性低血圧

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-38 咀嚼・嚥下に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 咀嚼の下顎運動には、三叉神経が関与する。
 - b) 喉頭は、鼻腔と上咽頭の間が存在する。
 - c) 嚥下運動には、喉頭期がある。
 - d) 肺炎の原因に、不顕性誤嚥がある。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-39 循環障害に伴う病態に関する組合せである。正しいのはどれか。正しいものを選べ。

- (1) 腎動脈狭窄 — 本態性高血圧
- (2) 右心不全 — 肺水腫
- (3) 深部静脈血栓 — 肺塞栓
- (4) 心筋壊死 — 狭心症
- (5) 粥状動脈硬化 — 糖尿病網膜症

24-40 心筋の活動電位と筋収縮に関する記述である正しいものの組合せを選べ。

- a) 膜電位が興奮閾値に達すると、過分極する。
 - b) 活動電位第 2 相(プラトー相)では、カルシウムイオンが心筋細胞内に流入する。
 - c) 心筋細胞内のカルシウムイオン濃度の上昇により、アクチンとミオシンが結合する。
 - d) 活動電位第 4 相(静止膜電位)では、心筋は収縮している。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-41 アシドーシス・アルカローシスとその原因に関する組合せである。正しいものを選べ。

- (1) 呼吸性アシドーシス — 過呼吸(過換気)
- (2) 呼吸性アルカローシス — 肺気腫
- (3) 代謝性アシドーシス — 嘔吐
- (4) 代謝性アシドーシス — 飢餓
- (5) 代謝性アルカローシス — 腎不全

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-42 腎臓の機能に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 尿素は、主に腎臓で産生される。
- (2) β 2-ミクログロブリンは、糸球体では濾過されない。
- (3) ヘンレ係蹄上行脚で水の再吸収が行われる。
- (4) 副甲状腺ホルモンは、リンの再吸収を抑制する。
- (5) 甲状腺ホルモンは、ビタミン D の活性化を促進する。

24-43 膵臓の外分泌腺から分泌されるポリペプチドである。正しいものを選び。

- (1) ガストリン
- (2) キモトリプシノーゲン
- (3) グルカゴン
- (4) セクレチン
- (5) ペプシノーゲン

24-44 クッシング症候群の症候である。間違っているものを選び。

- (1) 中心性肥満
- (2) 満月様顔貌
- (3) テタニー発作
- (4) 赤紫色皮膚線条
- (5) 多毛

24-45 甲状腺機能亢進症の症候である。正しいものを選び。

- (1) 嘔声
- (2) 体重増加
- (3) 無気力
- (4) 食欲亢進
- (5) 便秘

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-46 感覚器に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 音は、半規管によって電気信号に変換される。
- (2) 蝸牛からの信号は、顔面神経により伝えられる。
- (3) ロドプシンは、光の網膜照射によって分解される。
- (4) 瞳孔は、強い光が網膜に照射されることによって散大する。
- (5) 味蕾からの信号は、舌下神経により伝えられる。

24-47 呼吸器疾患の病態に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 未熟児の呼吸窮迫(促進)症候群では、肺サーファクタントの欠乏がみられる。
 - b) 過換気症候群の発作時には、動脈血炭酸ガス分圧が上昇している。
 - c) 肺気腫では、最初の 1 秒間で呼出できる気量が増加している。
 - d) 一酸化炭素中毒では、ヘモグロビンの酸素運搬能力が低下している。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-48 生殖器に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 精子細胞は、二倍体としての染色体を有す。
- (2) ミトコンドリアは、精子には存在しない。
- (3) 黄体からは、プロゲステロンが分泌される。
- (4) 黄体形成ホルモン(LH)サージは、月経を誘発する。
- (5) 黄体は、白体の癒痕化によりつくられる。

24-49 食物アレルギーに関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 食物アレルギーでは、皮膚症状は認められない。
- (2) 乳幼児の食物アレルギーは、自然寛解しない。
- (3) 果物では、食物アレルギーは生じない。
- (4) アレルゲンを推定するため、特異的 IgG 抗体検査を行う。
- (5) 食物誘発アレルギーの皮内反応は、15～20 分後に判定する。

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-50 大球性正色素性貧血をきたす疾患である。正しいものを選び。

- (1) 悪性貧血
- (2) 再生不良性貧血
- (3) 腎性貧血
- (4) 先天性球状赤血球症
- (5) 鉄欠乏性貧血

24-51 いも類に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) さつまいもの最適貯蔵温度は、4℃である。
- (2) こんにゃくいもは、塊根である。
- (3) さといもの粘性物質は、ガラクトタンである。
- (4) きくいもに含まれる主要多糖類は、グルコマンナンである。
- (5) 生のさといもの皮をむくと皮膚がかゆくなるのは、青酸配糖体による。

24-52 藻類に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 干しこんぶの表面の白い粉は、マンノースである。
- (2) エネルギー値は、アトウォーター係数を適用して求めた値に 0.5 を乗じて算出する。
- (3) アルギン酸は、ナトリウムイオンを加えるとゲル化する。
- (4) こんぶの旨味成分は、イノシン酸ナトリウムである。
- (5) 寒天は、加熱するとゲルとなる。

24-53 魚介類に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 煮魚の煮ごりは、アクトミオシンの変性によってできる。
- (2) 魚肉たんぱく質の第 1 制限アミノ酸は、リシンである。
- (3) 赤身魚は、白身魚よりもグリコーゲン含量が少ない。
- (4) 魚類の脂質含量は、産卵後よりも産卵前の方が高い。
- (5) K 値は、細菌汚染の指標である。

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

24-54 食品の嗜好成分に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) わさびの辛味物質は、アリイナーゼの働きにより生成される。
- (2) 野菜などの青臭いにおいは、ミロシナーゼの働きにより生成される。
- (3) 果実に含まれるフルクトースの甘味度は、温度によって変わらない。
- (4) トウガラシに含まれるカプサイシンは、体熱産生作用を持つ。
- (5) ウコンに含まれるクルクミンは、フラボノイドの一種である。

24-55 オリゴ糖とそれに含まれる糖の組合せである。正しいものを選び。

- (1) トレハロース — フルクトース
- (2) スクロース — アラビノース
- (3) マルトース — マンノース
- (4) ラフィノース — ガラクトース
- (5) シクロデキストリン — ガラクツロン酸

24-56 アミノカルボニル反応に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 分枝(分岐鎖)アミノ酸では、側鎖で反応が進む。
- (2) 反応の初期にポリフェノールオキシダーゼが関与する。
- (3) 反応の終期にアマドリ転移反応が起こる。
- (4) 水分活性が0.2以下で起こりやすい。
- (5) 亜硫酸は、反応を抑制する。

24-57 でん粉の老化に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) アミロースは、アミロペクチンより老化が進みやすい。
 - b) 室温(20~25℃)では、低温(0~4℃)より老化が進みやすい。
 - c) 砂糖の添加は、老化に対して遅延効果がある。
 - d) 水分含量が70~80%の時に、老化が最も進みやすい。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

24-58 「栄養機能食品の表示に関する基準」の記述である。正しいものを選び。

- (1) ビタミン A は、抗酸化作用により、体内の脂質を酸化から守り、細胞の健康維持を助ける栄養素です。
- (2) ビタミン B1 は、炭水化物からのエネルギー産生と皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です。
- (3) 鉄は、骨や歯の形成に必要な栄養素です。
- (4) 銅は、味覚を正常に保つのに必要な栄養素です。
- (5) ナイアシンは、腸管のカルシウムの吸収を促進し、骨の形成を助ける栄養素です。

24-59 特別用途食品に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 嚥下困難者用食品には、許可基準はない。
- (2) 特別用途食品は、食品衛生法に定められている。
- (3) 乳児用調製粉乳の表示は、国の許可が不要である。
- (4) 低たんぱく質食品は、病者用食品の一つである。
- (5) 特別用途食品の表示には、疾病の予防に適するという表示が許される。

24-60 「いわゆる健康食品」に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 身体の構造と機能に影響を及ぼすことを表示することができる。
- (2) 製品中の成分の含有量を表示することができる。
- (3) 有効性に関する体験談は、科学的根拠として表示ができる。
- (4) 「病気の症状が気になる人へ」という表示ができる。
- (5) チンパンジーによる試験は、ヒトでの臨床試験と同等とみなすことができる。

24-61 食品の表示に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) さばを原材料とする食品には、アレルギー物質を含む食品に関する表示が義務付けられている。
- (2) 食物アレルギーを引き起こすことが明らかな特定原材料として、6品目が定められている。
- (3) 落花生を原材料とする食品には、アレルギー物質を含む旨の表示をすることが推奨されている。
- (4) 加工食品には、賞味期限又は消費期限のいずれかを表示することが義務付けられている。
- (5) 賞味期限は、品質が急速に劣化しやすい食品に表示される。

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

24-62 生産条件と食品成分に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) ほうれんそうの葉(生)に含まれるビタミンCの量は、夏採りより冬採りの方が少ない。
- (2) お茶に含まれるテアニンの量は、煎茶より玉露の方が少ない。
- (3) かつお(生)に含まれる脂質の量は、春獲りより秋獲りの方が少ない。
- (4) まだい(生)に含まれる脂質の量は、天然より養殖の方が少ない。
- (5) 牛乳に含まれる脂質の量は、ジャージー種よりホルスタイン種の方が少ない。

24-63 加工食品と凝固に関与する成分の組合せである。正しいものを選べ。

- (1) 木綿豆腐 — グリアジン
- (2) かまぼこ — コラーゲン
- (3) 寒天 — ペクチン
- (4) ナチュラルチーズ — κ -カゼイン(カッパカゼイン)
- (5) こんにゃく — イヌリン

24-64 食用油脂に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) サラダ油の製造では、エージングにより固体脂を除去している。
- (2) ごま油には、抗酸化成分としてビタミンCが含まれている。
- (3) オリーブ油に含まれる不飽和脂肪酸は、 α -リノレン酸が最も多い。
- (4) 硬化油は、バターの原料に使われる。
- (5) 硬化油の製造中に、トランス型の脂肪酸が生成される。

24-65 食品の保存に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 容器中の窒素を酸素に置き換えることで、品質劣化を抑制することができる。
- (2) 冷凍保存では、冷凍焼けを防ぐためにブラインによる処理が行われる。
- (3) パーシャルフリージングは、0～-1℃で保持する方法である。
- (4) 冷凍する時は、-1～-5℃での滞留時間を短くする。
- (5) 水分活性が0.75以上になると、微生物は増殖しない。

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

24-66 食べ物の嗜好性についての記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 嗜好は、個人の一生を通して普遍的なものである。
 - b) だし汁に少量の食塩を加えると、うま味がひきたつ現象を相乗効果という。
 - c) 嗜好型官能評価のパネルは、一般消費者が適当である。
 - d) 砂糖の濃度が同じとき、ゲルでは水溶液に比べて甘味が弱い。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-67 加熱調理器具に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 電子レンジで加熱したとき、塩分を含む食品は表面が高温になりやすい。
- (2) 自然対流式オーブンでは、対流による伝熱の割合が多い。
- (3) ほうろろ鍋は、電磁調理器では使えない。
- (4) ステンレスは、鉄よりも熱伝導率が高い。
- (5) 電磁調理では、磁力線により食品内部で発熱する。

24-68 ゲル状食品に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 生のパイナップルを寒天ゾルに入れるとゲル化しない。
- (2) 砂糖の添加は、寒天ゲルの離漿を促進する。
- (3) ゼラチンゲルは、寒天ゲルよりも融解温度が高い。
- (4) 高メトキシルペクチンは、カルシウムイオンでゲル化する。
- (5) カラギーナンは、熱可逆性のゲルを形成する。

24-69 小麦粉の調理についての記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 砂糖は、グルテン形成を促進する。
 - b) シューの膨化は、生地内部に発生した水蒸気の圧力による。
 - c) ドウをねかす時間を長くするほど、伸張抵抗が減少する。
 - d) ルウの調理では、160℃で加熱してもデキストリンは生じない。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-70 五訂増補日本食品標準成分表に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 一般成分とは、たんぱく質、脂質、炭水化物、ビタミンおよび無機質である。
- (2) 大豆製品のうち主要な食品のエネルギー値については、FAO/WHO 合同特別委員会のエネルギー換算係数を適用している。
- (3) 収載成分項目における炭水化物は、糖質と食物繊維に分けられている。
- (4) 収載成分項目における脂肪酸は、n-6 系と n-3 系に分けられている。
- (5) 文献等により含まれていないと推定される成分については、(0)と表示されている。

24-71 ノロウイルスに関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 感染者の吐物や糞便から感染する。
 - b) ヒトの腸管内で増殖する。
 - c) 60℃、1 分間の加熱で不活性化する。
 - d) 感染による症状は、手足の麻痺である。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-72 食品の変質に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 食品の腐敗により、トリプトファンから Trp-P-1 が生じる。
 - b) 水分活性は、食品中の結合水量を示す指標である。
 - c) トリメチルアミンは、海産魚類の初期腐敗の指標である。
 - d) ヒスタミンは、ヒスチジンの脱炭酸により生じる。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-73 食中毒原因微生物に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) ボツリヌス菌は、pH6.5 以下では増殖しない。
- (2) 黄色ブドウ球菌の毒素は、100℃、3 分間の加熱で不活性化される。
- (3) サルモネラ菌は、60℃、30 分間の加熱で死滅する。
- (4) カンピロバクターに感染すると、約 5 時間で発症する。
- (5) 腸炎ビブリオの増殖は、3%塩化ナトリウム溶液で抑止できる。

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-74 食品汚染物質に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 日本人におけるダイオキシン類の曝露は、魚介類によるものが多い。
 - b) 米ぬか油に起因した油症は、製造工程で混入した PCB が原因であった。
 - c) アクリルアミドは、肉や魚の焼けこげ中に存在する。
 - d) アフラトキシンは、加熱調理することで分解される。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-75 食品の容器と包装に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) フタル酸エステルは、ポリカーボネートの原材料である。
 - b) ポリエチレンテレフタレートは、熱硬化性樹脂である。
 - c) ホルムアルデヒドは、発癌性が知られている。
 - d) 焼成温度が低い陶磁器は、調理時に金属が溶出することがある。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-76 栄養素の過不足と疾患リスクの組合せである。正しいのはどれか。正しいものを選べ。

- (1) 炭水化物の過剰 — マラスマス
- (2) たんぱく質の過剰 — 高カルシウム血症
- (3) 必須脂肪酸の不足 — ベラグラ
- (4) 葉酸の不足 — 貧血
- (5) ヨウ素の過剰 — クレチン病

24-77 消化に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 胃酸分泌は、迷走神経が亢進すると抑制される。
- (2) 胃酸分泌は、胃内容物が十二指腸に移行することにより抑制される。
- (3) 脂肪の胃内滞留時間は、糖質よりも短い。
- (4) ガストリンは、膵臓から分泌される。
- (5) でんぷんの消化は、十二指腸から始まる。

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

24-78 消化と吸収に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 腸管から吸収された中鎖脂肪酸は、リンパ管へ運ばれる。
- (2) 消化管ホルモンの分泌は、消化産物の影響を受けない。
- (3) 糖質の消化酵素は、胃液に含まれない。
- (4) 脂肪の消化によって、モノアシルグリセロールは生じない。
- (5) 脂質の消化酵素は、胆汁に含まれる。

24-79 糖質の栄養に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 食後には、肝臓のグリコーゲンの合成が低下する。
- (2) 空腹時には、脂肪酸からグルコースが合成される。
- (3) 糖質の摂取量が多いと、筋肉のグリコーゲン含量が増大する。
- (4) 糖質の摂取量が少ないと、たんぱく質はエネルギー源として利用される割合が低下する。
- (5) 糖質の摂取量が多いと、葉酸の必要量が増す。

24-80 糖質の栄養に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) インスリンは、脂肪組織へのグルコースの取り込みを促進する。
 - b) 糖質の摂取は、体たんぱく質の合成を抑制する。
 - c) 糖質の多い食事は、脂肪組織におけるトリアシルグリセロールの合成を促進する。
 - d) 飢餓時には、筋肉のグリコーゲンはグルコースに分解され血液中に放出される。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-81 脂質の体内輸送に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) カイロミクロン(キロミクロン)は、食事から吸収されたトリアシルグリセロールを輸送する。
 - b) VLDL のトリアシルグリセロールは、そのままの形で脂肪細胞に取り込まれる。
 - c) LDL は、肝外組織に遊離脂肪酸を輸送する。
 - d) HDL は、肝外組織のコレステロールを肝臓へ輸送する。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-82 脂質の栄養に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) ケトン体は、脳でエネルギー源として利用される。
 - b) 脂肪組織におけるトリアシルグリセロールの分解は、絶食により抑制される。
 - c) 脂肪組織からのレプチンの分泌は、脂肪蓄積量が多くなると増大する。
 - d) 肝臓におけるコレステロールの合成は、食事性コレステロールが多いと促進される。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-83 たんぱく質の栄養に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) ヒトにおける必須アミノ酸（不可欠アミノ酸）は、7種類である。
- (2) たんぱく質の生物価は、吸収窒素量に対する体内保留窒素量の比率として求められる。
- (3) アミノ酸インバランスとは、必須アミノ酸（不可欠アミノ酸）の過剰を表す用語である。
- (4) たんぱく質の栄養価は、含有するアミノ酸の総量で決められる。
- (5) たんぱく質の栄養価は、第一制限アミノ酸を補足しても改善できない。

24-84 食事として摂取すべきビタミンの量に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) ナイアシンの量は、たんぱく質の摂取量が少ない場合、増加させる。
 - b) ビタミン B6 の量は、たんぱく質の摂取量が多い場合、減少させる。
 - c) ビタミン B1 の量は、アルコールを大量に摂取する場合、増加させる。
 - d) ビタミン K の量は、多価不飽和脂肪酸が多い場合、増加させる。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-85 鉄の吸収と代謝に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 海藻に含まれる鉄の吸収率は、肉類に含まれる鉄の吸収率より高い。
- (2) 非ヘム鉄の吸収率は、鉄欠乏によって低下する。
- (3) 分解された赤血球の鉄は、ヘモグロビンの合成に再利用される。
- (4) 体内の貯蔵鉄量は、機能鉄量より多い。
- (5) 体内の機能鉄量の半分は、ミオグロビン鉄として存在する。

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-86 無機質の吸収と代謝に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) カルシウムの腸管吸収率は、年齢による影響を受けない。
- (2) リンの過剰摂取は、カルシウムの腸管吸収率を低下させる。
- (3) カリウムを多く摂取すると、血圧が上昇する。
- (4) マグネシウムは、骨に含まれない。
- (5) 亜鉛が欠乏すると、味覚の感受性が上がる。

24-87 水の代謝に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 脂質が体内でエネルギー源として利用されると、代謝水が生じる。
- (2) 食物から摂取する水分は、飲料水として摂取する水分の 10%以下である。
- (3) 不可避尿量は、水分を全く摂取しないと、増加する。
- (4) 大量に発汗した者に水分のみを補給すると、浮腫が起こる。
- (5) 成人では、体内の水分が 5%減少しても自覚症状はみられない。

24-88 エネルギー代謝に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 甲状腺ホルモンは、エネルギー代謝を亢進させる。
 - b) 体重あたりの基礎代謝量は、学童期に最大となる。
 - c) メッツ(METs)は、基礎代謝量の何倍にあたるかを示したものである。
 - d) 安静時のエネルギー消費量は、脂肪組織より骨格筋の方が大きい。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-89 遺伝子発現と栄養に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 遺伝子の多型の中には、後天的に生じた変異も含まれる。
 - b) 俟約遺伝子とは、基礎代謝の上昇を起こすように変異した仮説的遺伝子である。
 - c) 遺伝子一塩基多型の中には、表現型に影響を与えないものがある。
 - d) 遺伝子多型の出現頻度は、人種によって異なる。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

24-90 栄養アセスメントに関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 血清プレアルブミン(トランスサイレチン)は、血清アルブミンより半減期が長い。
 - b) 内臓脂肪量は、二重エネルギーX線吸収測定法(DEXA)によって評価できる。
 - c) インピーダンス法は、組織の電気抵抗の違いを利用して体組成を評価する方法である。
 - d) HbA1cは、赤血球のヘモグロビンにグルコースが結合したものである。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

24-91 妊娠に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 非妊娠時の肥満は、妊娠高血圧症候群の発症リスクが低い。
 - b) 非妊娠時の肥満は、妊娠糖尿病の発症リスクが低い。
 - c) 妊娠糖尿病は、2型糖尿病の発症リスクが高い。
 - d) 非妊娠時のやせは、低出生体重児の出産リスクが高い。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

24-92 妊娠母体の生理的変化に関する記述である。正しいものを選べ。

- (1) 血中ヒト絨毛性ゴナドトロピン(hCG)濃度は、妊娠初期よりも末期に上昇する。
- (2) インスリン抵抗性は、高まる。
- (3) 循環血液量は、減少する。
- (4) 血中脂質濃度は、低下する。
- (5) 血液凝固系は、低下する。

24-93 産褥・授乳期に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 吸啜刺激は、プロラクチン分泌を増加させる。
 - b) 吸啜刺激は、オキシトシン分泌を低下させる。
 - c) 喫煙は、乳児突然死症候群の発症リスクを高める。
 - d) 母親の摂取したアルコールは、母乳に移行しない。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-94 母乳の成分に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 乳糖は、初乳より成熟乳に多く含まれる。
 - b) ラクトフェリンは、初乳より成熟乳に多く含まれる。
 - c) たんぱく質は、牛乳の約 2 倍含まれている。
 - d) 脂肪酸組成は、母親の食事内容に影響される。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-95 「授乳・離乳の支援ガイド(平成 19 年)」に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 哺乳反射の強弱は、離乳開始の目安となる。
 - b) フォローアップミルクを使用する場合は、生後 6 か月以降とする。
 - c) 離乳食は、生後 9 か月頃から 1 日 3 回にしていく。
 - d) 咀嚼機能は、生後 18 か月頃までに完成される。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-96 乳児期の栄養に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 「平成 17 年度乳幼児栄養調査」による生後 1 か月の母乳栄養の割合は、5.0%以上である。
 - b) 母乳栄養児は、人工栄養児より糞便中のビフィズス菌が多い。
 - c) 乳児期の貧血の原因でもっとも多いのは、鉄欠乏である。
 - d) フェニルケトン尿症の治療には、乳糖の摂取制限が有効である。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-97 幼児期の栄養に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 症候性肥満は、単純性肥満より多い。
 - b) カウプ指数による肥満判定基準は、年齢により異なる。
 - c) 水分必要量は、体重 1kg あたり成人の約 2 倍である。
 - d) 3～5 歳の基礎代謝基準値(kcal/kg 体重/日)は、1～2 歳児より高い。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

第 24 回管理栄養士国家試験 午前問題

24-98 学童期の栄養と病態・疾患に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) 学童期の肥満は、成人期の肥満に移行しにくい。
 - b) 世界保健機関(WHO)による貧血の基準は、血中ヘモグロビン濃度が 12g/dL 以下である。
 - c) 1 人あたりの歯数は、減少傾向にある。
 - d) メタボリックシンドロームの診断基準は、成人の基準を適用する。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-99 女性の更年期に関する記述である。正しいものの組合せを選べ。

- a) プロゲステロンの分泌量は、増加する。
 - b) 卵胞刺激ホルモン(FSH)の分泌量は、増加する。
 - c) 骨密度は、低下する。
 - d) 閉経後、血清 LDL-コレステロール濃度は、低下する。
- (1)a と b (2)a と c (3)a と d (4)b と c (5)c と d

24-100 70 歳以上の高齢者の健康状態や生活習慣についての記述である。正しいものを選べ。

- (1) 「日本人の食事摂取基準(2005 年版)」における身体活動レベルは、18～69 歳に等しい。
- (2) 「日本人の食事摂取基準(2005 年版)」における基準体重は、男女とも 50～69 歳と比べて 1.0kg 以内の差である。
- (3) 「国民健康・栄養調査(平成 18 年)」によれば、運動習慣者の割合は、20～50 歳代より多い。
- (4) 「国民健康・栄養調査(平成 18 年)」によれば、歩数が 4,000 歩/日未満の女性は、半数以下である。
- (5) 「歯科疾患実態調査(平成 17 年)」によれば、平均現在歯数は、20 本以上である。

24-101 高齢期のアセスメントに関する組合せである。正しいのはどれか。正しいものを選べ。

- (1) 上腕三頭筋部皮下脂肪厚 — 筋持久力
- (2) 長谷川式簡易スケール — 嚥下機能
- (3) 嚥下造影検査(VF) — 認知機能
- (4) バーセルインデックス — 日常生活動作(ADL)
- (5) 水飲みテスト — 脱水の程度

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

24-102 「日本人の食事摂取基準(2005年版)」の推定エネルギー必要量に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 成人の値は、国民栄養調査(現国民健康・栄養調査)のエネルギー摂取量を参考に算出する。
- (2) 小児の値は、エネルギー蓄積量を加味しない。
- (3) 乳児の値は、基準哺乳量0.92L/日をもとに算出する。
- (4) 授乳婦では、体重減少分が考慮されている。
- (5) エネルギー摂取量の不足する確率が、最も低いと推定される値である。

24-103 「日本人の食事摂取基準(2005年版)」の上限量に関する記述である。正しいものを選び。

- (1) 上限量が策定されている栄養素以外は、過剰摂取による健康障害は発症しない。
- (2) 1日でも上限量を摂取すると、健康障害を発症する。
- (3) 健康障害が発現しないことが知られている最大値は、最低健康障害発現量である。
- (4) 健康障害が発現したことが知られている最小値は、健康障害非発現量である。
- (5) 算定には、不確実性因子が用いられている。

24-104 「健康づくりのための運動指針2006」についての記述である。正しいものを選び。

- (1) 生活活動は、身体活動と運動に分類される。
- (2) 静かに立っている状態の身体活動強度は、1メッツに相当する。
- (3) 健康づくりのための身体活動量の目標は、歩数にすると約6,000歩/日である。
- (4) 健康づくりを目的とした場合に目標となる運動量は、4エクササイズ/週である。
- (5) 内臓脂肪減少を目的とした場合に目標となる運動量は、4エクササイズ/週である。

24-105 特殊環境とそれに対する身体の変化に関する記述である。正しいものの組合せを選び。

- a) 低温環境では、皮膚血流量が減少する。
 - b) 高温環境では、血中抗利尿ホルモン(ADH)濃度が低下する。
 - c) 低圧環境では、血中ヘモグロビン濃度が低下する。
 - d) 無重力環境では、尿中カルシウム排泄量が増加する。
- (1)aとb (2)aとc (3)aとd (4)bとc (5)cとd

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

解答用紙

番号	解答	番号	解答	番号	解答	番号	解答
24-1		24-51		24-101			
24-2		24-52		24-102			
24-3		24-53		24-103			
24-4		24-54		24-104			
24-5		24-55		24-105			
24-6		24-56					
24-7		24-57					
24-8		24-58					
24-9		24-59					
24-10		24-60					
24-11		24-61					
24-12		24-62					
24-13		24-63					
24-14		24-64					
24-15		24-65					
24-16		24-66					
24-17		24-67					
24-18		24-68					
24-19		24-69					
24-20		24-70					
24-21		24-71					
24-22		24-72					
24-23		24-73					
24-24		24-74					
24-25		24-75					
24-26		24-76					
24-27		24-77					
24-28		24-78					
24-29		24-79					
24-30		24-80					
24-31		24-81					
24-32		24-82					
24-33		24-83					
24-34		24-84					
24-35		24-85					
24-36		24-86					
24-37		24-87					
24-38		24-88					
24-39		24-89					
24-40		24-90					
24-41		24-91					
24-42		24-92					
24-43		24-93					
24-44		24-94					
24-45		24-95					
24-46		24-96					
24-47		24-97					
24-48		24-98					
24-49		24-99					
24-50		24-100					

第24回管理栄養士国家試験 午前問題

番号	解答	番号	解答	番号	解答	番号	解答
24-1	3	24-51	3	24-101	4		
24-2	3	24-52	2	24-102	4		
24-3	2	24-53	4	24-103	5		
24-4	5	24-54	4	24-104	4		
24-5	3	24-55	4	24-105	3		
24-6	5	24-56	5				
24-7	3	24-57	2				
24-8	5	24-58	2				
24-9	2	24-59	4				
24-10	4	24-60	2				
24-11	3	24-61	4				
24-12	5	24-62	5				
24-13	5	24-63	4				
24-14	4	24-64	5				
24-15	2	24-65	4				
24-16	4	24-66	5				
24-17	5	24-67	1				
24-18	4	24-68	5				
24-19	3	24-69	4				
24-20	5	24-70	5				
24-21	3	24-71	1				
24-22	3	24-72	3				
24-23	1	24-73	5				
24-24	3	24-74	1				
24-25	4	24-75	5				
24-26	3	24-76	4				
24-27	3	24-77	2				
24-28	4	24-78	3				
24-29	1	24-79	3				
24-30	3	24-80	2				
24-31	2	24-81	3				
24-32	4	24-82	2				
24-33	5	24-83	2				
24-34	4	24-84	2				
24-35	2	24-85	3				
24-36	2	24-86	2				
24-37	2	24-87	1				
24-38	3	24-88	3				
24-39	2	24-89	5				
24-40	3	24-90	5				
24-41	4	24-91	5				
24-42	4	24-92	2				
24-43	4	24-93	2				
24-44	3	24-94	3				
24-45	4	24-95	2				
24-46	3	24-96	4				
24-47	解なし	24-97	4				
24-48	3	24-98	4				
24-49	5	24-99	4				
24-50	1	24-100	3				